

国会議事堂へ行こう！

ニュースでおなじみの国会議事堂の外観ですが、皆さん、生で見たことありますか？ 私もこれまで1, 2度見ただけでしたが、今回なんと、国会議事堂の中へ行って参りました。国会議事堂はタダで見学ができるのです。

国会議事堂は正面に向かって右側が参議院、左側が衆議院です。衆議院は代議士の紹介がないとダメですが、参議院は一般の人でも見学可能です。

参議院の裏側の参議院別館で受付をします。通常もなのか、テロの特別警戒のせいなのか、カバンの中身を少し調べる上に、金属探知器まで通らされます。

見学はガイド付きで15人程度で回ります。人数が集まり次第出発です。続々と見学希望者が来るので、隠れた人気にビックリしてしまいました。

国会議事堂の右端からまずは廊下へ。赤絨毯が敷かれています。起毛が長めらしく、柔らかい歩き心地です。建物内は撮影禁止なのが残念です。



続いて、3階の傍聴席から2階の参議院本会議場の見学です。扉が開いた瞬間、おおー。吹き抜けの大空間、テレビでよく見る風景が目に飛び込んできました。かなり感動します。

壁や柱を飾るたくさんの彫刻は全て職人による手作り、天井はステンドグラスの天窗です。

国会議事堂は基本的に純国産ですが、輸入品が3つだけあり、このステンドグラスはその1つです。(あとの2つは扉のマスターキーと各階から郵便物を集めるメールシュート)

参議院は定数247ですが460席あります。これは貴族院の議場の名残です。

衆議院の議場との大きな違いは、正面中央の議長席の後ろに開会式で天皇が臨席する席があることです。とても大きな開口部とカーテンが目印です。それと、正面中央部の左右に、押しボタン式投票の表示盤があることです。押しボタン方式は参議院だけです。これらは議長席周辺がテレビに映れば分かります。

次は天皇陛下の御休所(ごきゅうしょ)です。国会議事堂の中央部にあります。中には入れません。天井、壁、柱、扉の金や漆や刺繍、1枚ものの大きな絨毯など、全てが工芸の粋を集めて作ったそうです。この巨大な国会議事堂の総工費の1割程度がこの部屋に使われているとも言われています。



最後に中央の塔の真下にある中央広間です。天井までの吹き抜けは約32m。スケールが大きいのので、そんなに高いとは全然感じませんでした。窓や天井のステンドグラス、床の大理石のモザイク模様、重厚な柱と壁、日本の四季の壁画、銅像や照明など、とても重みのある象徴的な空間でした。あとは外の前庭を通過して、正面の正門で記念撮影の時間を取って、見学は終わりです。



ちなみにガイドは警務部の衛視です。国会の職員で、国家公務員です。国会議事堂及び敷地内の警備は衛視、一步出ると警察の仕事です。参議院と衆議院でも別で、組織も採用も全く別です。通常はお互い逆の方へは入れないそうです。堅そうな衛視さんですが、ざっくばらんに話してくれる好印象の方でした。

約40分程度の見学でしたが、タダだし、なかなか貴重でとても興味深いものでした。東京で再開発を見て回るのもいいですが、間に国会議事堂の見学も加えてみてはいかがでしょうか。お勧めです！

参議院見学のご案内 <http://www.sangiin.go.jp/japanese/frame/jimu1.htm>
(管内撮影禁止のため、建物内の写真は上記HPに掲載の写真を使用しています)